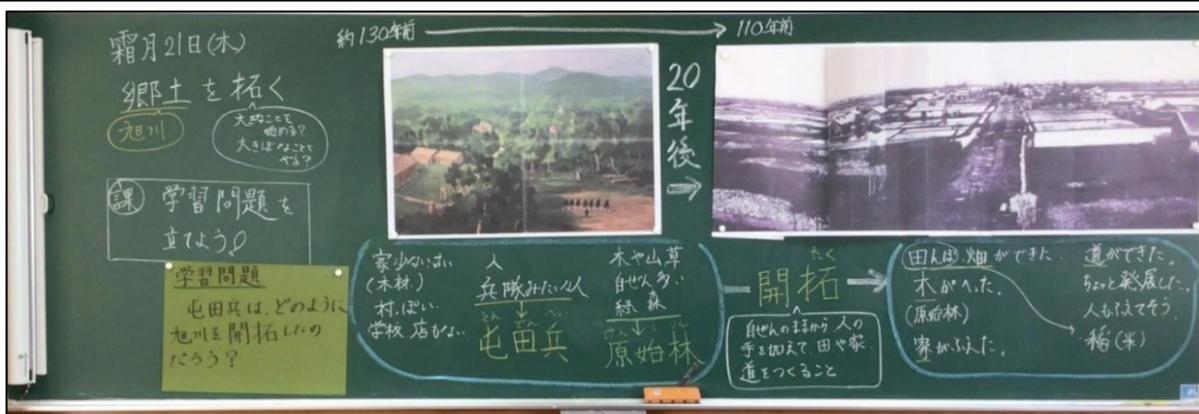


7 事後分析

研究内容1 児童生徒の思考に沿った単元デザインの工夫

(1) 課題設定、見通し

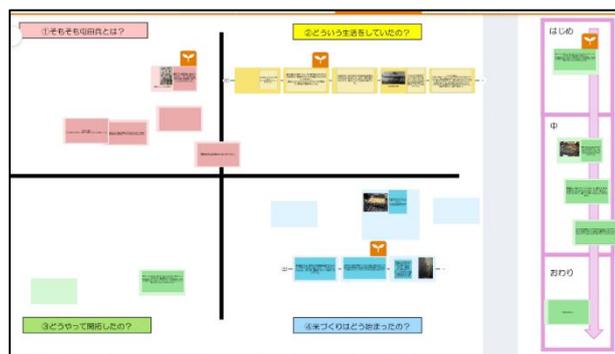
- 児童の主体的・対話的で深い学びを実現するためには、単元で授業を考えることが重要と実感した。特に、単元の課題をどのようなものにするか、どのように設定するかによって、その後の活動内容や、児童の学び方が大きく異なってくる。本実践では、課題の主語を「屯田兵たち」に絞ることによって、児童が追究する対象を明確にした。また、課題設定の際には、2枚の資料を比較させることで、課題につながる問いを見いだすことができるようにした。それによって、児童が単元で解決すべき課題を意識しながら意欲的に学習を進める様子が見られた。
- 本単元で扱うのは「地域の発展に尽くした先人」である。今回は、その対象を「屯田兵たち」としたが、上川の開拓調査に訪れた人物等にも対象を広げることが可能である。その場合、より児童それぞれの興味・関心に合わせて学びを進められることが考えられる。



(2) 自己決定、自己選択

【資料①第1時の板書】

- 児童は、4つの視点について、何からどのように調べるのかを選択、決定した。その際に、学級の実態や活動に合わせた思考ツールを用いることで、他者参照を行いながら効果的に情報収集をする様子が見られた。
- 本単元では、3時間で調べ学習を進めた。その中で「もっと調べる時間がほしい」という児童の声が上がった。視点や資料の数に対し、児童が十分に学びに向かえる時間を確保したい。



【資料②児童が情報収集の際に用いた思考ツール】

(3) 単元レベルでの振り返り

- 単元の振り返りでは、①学級全体の問題解決の状況を振り返る、②個人の学習内容や学習方法について振り返るという2つの視点を設定した。①については、学習問題についてしっかり考え、解決することができたという振り返りが多く、学びへの納得感・満足感が得られている様子が見られた。②については、これまでの振り返りを蓄積し、参照できるようにしておくことで、自分の学びや学び方を俯瞰的に捉え、成長の自覚をしている様子が見られた。
- 振り返りの表現について、質・量ともに児童によって大きな差が見られた。時間は十分取ったものの、書けない児童がいた。そのため、他者参照に加え、授業者からのフィードバックや他教科、他単元での振り返りの機会の保障など、振り返りを充実させる手立てが必要である。

単元の振り返り

①しっかり解決できた。理由は前回も色々ノートにいっぱいかけたし今回劇の様子を改めてみるとこんなことがあったんだとかを改めて知れたから。(囚人はどんなことをしていたのかとかをよくわからなかったけど冬休み用に借りた本で確認したい。)

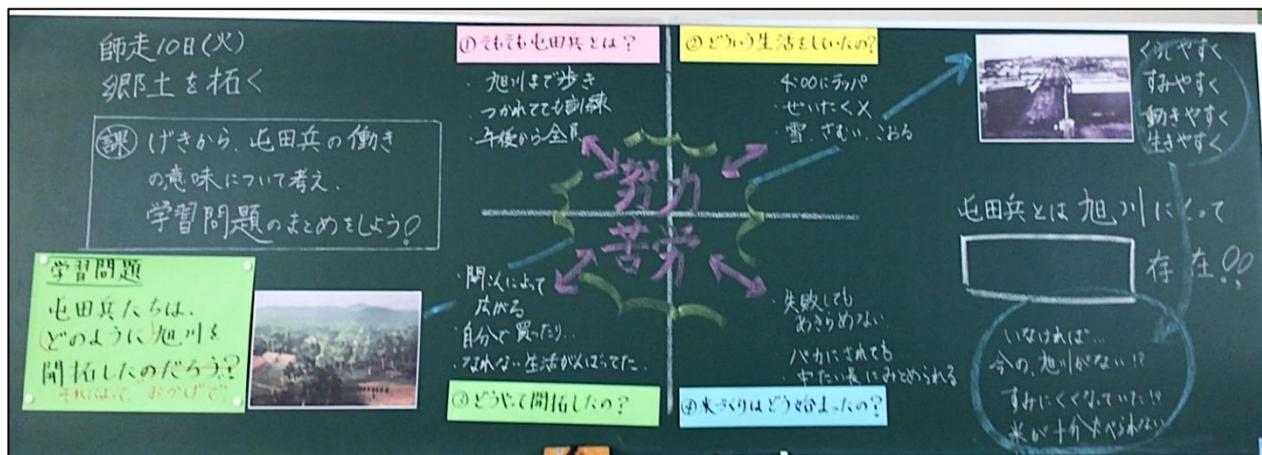
②調べてまとめる時にしっかりと似ているものや関連するものをまとめたりしたりできた。学び方で成長したことは、劇の台本を自分で作ったりすることの楽しさを知ったことと学んだことは見学とかで知ったことをノートにまとめる時に聞き逃さないようにしたこと。

【資料③児童の単元の振り返り】

研究内容2 児童生徒の深い学びを充実させる本時の展開の工夫

(1) 発問

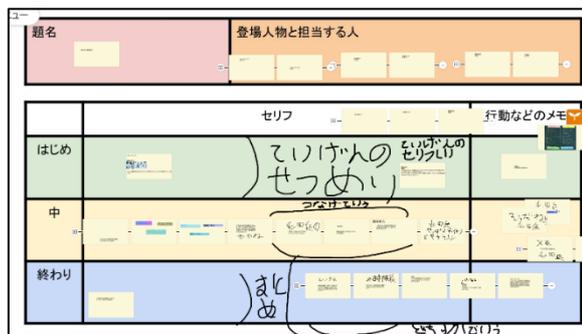
- 本時では、主に2つの発問を用意した。1つ目は、4つの劇の内容を束ね、屯田兵の苦労や努力に気付かせるための「4つに共通する屯田兵の様子はどのようなものか。」である。2つ目は、屯田兵の働きの意味に迫る「屯田兵とは、旭川にとってどのような存在か。」である。これらの発問によって、児童の思考対象が絞られ、新たな気付きや理解を生むことができた。
- 屯田兵の願いや思いに注目させることも本時では有効であった。そのためには、「なぜ、屯田兵たちはそんなに努力や苦労をしてまで、旭川を開拓したのだろうか。」等が考えられる。授業のねらい、目標に合わせて発問を精査していく必要がある。



【資料④本時の板書】

(2) 必要感のある学び合い

- 本時における学び合いは、劇の交流と主発問に対する話し合いの2つを設定した。いずれも、他者と学ぶことで、一人ではたどり着けない理解や気付きを共有することができた。
- 本時の学び合い場面は、授業者の問い掛けや発言整理によって進めた。グループなどの活動規模で、より児童に委ねた学び合いにする方法が考えられた。



【資料⑤児童が劇作成の際に使ったシート】

(3) 本時レベルでの振り返り

- 本時は、「今日の劇や話し合いを通して、どんな学びがあったか。」という視点で振り返りを行った。振り返る視点を明確にすることで、学び方(方法)のよさや学習内容の価値に気付くことができた児童が多くいた。
- 本時では、振り返りの時間を十分に確保することができなかった。児童が学びや思考を整理するためには、しっかりと時間を取り、言語化させることが重要であった。

11時間目

劇を通して屯田兵がどんなに大変かを知った。屯田兵がいなきゃ旭川は開拓されずにずっと森みたいなところだったけど屯田兵のおかげで今みたいに旭川が住みやすくなっているから。本当に屯田兵はすごいなと思った。いろんなグループの劇を見て屯田兵の辛さがもっと分かった。

11時間目

劇は、思ったよりうまくいったし、他の人の発表を見て、とってもわかりやすくて全ての仕組みがわかったから、学習問題のまとめがスラスラ思っていたよりかけました。屯田兵がどんな思いで、開拓していたのかをわかったし、未来のことを考えていて、苦労や努力をしていたのがすごいと思います。

11時間目

劇をしたおかげでかんたんにわかりやすくまとめたりできた。この単語で昔のことをまったく知らなかったのにわかるようになった

【資料⑥児童の本時の振り返り】